

竹馬会情報紙

ホームページアドレス

<http://chikubakai.com>

はずみ

CHIKUBAKAI

竹馬会キャラクター
なべムシ君

はずみの発行は、この300号をもって終了します！

1999年(平成11年)4月24日にはずみ第1号を発行してから今年で25年になります。第1号は、大分県下11村で開催していた「豊の国村サミット」が三光中央公民館で開催されるお知らせ、八面山平和マラソン大会、第11回の泥田バレーボール大会のなど今後の予定のお知らせでした。

平成8年にイオンモール三光がオープンしてからは泥田バレーに協力をしてもらい、そのお返しにお正月の門松を設置したり、セントラルコートで餅つきなどもしてきました。金色温泉での餅つきもお正月の恒例行事でした。

また、泥田バレーでは島根県平田市(現出雲市)と交流をしたりと、泥田バレーは全国的にも有名になりました。今、振り返っても元祖泥田バレーボール大会は竹馬会最大のイベントでした。

さらに、今では年4回の草刈りのうち2回が国土交通省の委託作業となり、竹馬会の唯一の収入源となっている河川敷の桜を植樹したのが2002年(平成14年)の1月24日でした。あれから22年、春には毎年満開の桜を見ることができます。河川敷の草刈りは今後も続けていきます。

2005年(平成17年)3月1日には中津市と合併して新たな歴史がスタートしました。合併を前にした2月20日には閉村式のあと三光中学校体育館で「村民のつどい」が行なわれ、竹馬会が中心となり昭和40年代ほ場整備事業に反対したの当時の出来事を寸劇で演じました。

“はずみ鍋”も大活躍し、八面山フェアでの出店や周辺自治体への貸し出しだけでなく、2003年(平成15年)2月28日に大分ビッグアイで行なわれた大分トリニータのJ1昇格の記念イベントに大分県からの依頼を受け、豚汁をふる舞いました。また、災害支援でも平成7年の阪神淡路大震災に続き2016年(平成28年)4月14・16日に発生した熊本大分地震では熊本県益城町まで炊き出し支援に行きました。

そして一斉風靡した泥田バレーも会員の高齢化で2013年(平成25年)に惜しまれながら25年の歴史に幕を降ろしました。最終回はNHK大分放送局が13時05分から2時15分までラジオで実況生中継するという、全国のNHK各放送局は日曜日の午後はプロ野球かサッカーを中継しているところ、大分だけは泥田バレーボールの中継という最高の幕引きが出来ました。

その後は、2011年(平成23年)に発生した東日本大震災の復興支援として福島ひまわり里親プロジェクトに参加し、この活動も今年で14年になりました。

これまでのような大きなイベントは出来ませんが、同じ佐知に住みむ人たちが力を合わせてこそ地域社会が成り立って行くものと思います。

竹馬会結成当時の「みんなでつくろう住みよい川を！」を合言葉にこれからもみんなで力を合わせて住みよい佐知をつくっていきましょう！！

“はずみ”の発行は、この300号をもって25年の歴史に幕を降ろしますが、竹馬会の活動はこれからも続きます。今後のお知らせ等は時代の流れに沿って「LINE」で行ないます。 長い間ありがとうございました！



合同慰霊祭



盆踊り



7月20日河川敷草刈り



7月6日河川敷花壇撤去



8月17日コスモスの種まき



8月8日満開のひまわり

はずみえでお知らせする最後の今後の予定

■八面山クリーンアップ作戦

9月8日(日)7時00分～

※6時40分活性化センター集合

■河川敷草刈り

※状況を見てLINEで連絡します。

■ひまわりの種取り

9月15日(日)予定

※詳しくはLINEで連絡します。

■全国豊かな海づくり大会(大分県開催)

11月10日(日)

※はずみ鍋を使って中津市飲食業組合がふる舞い汁を提供。鍋の運搬管理を竹馬会で！

はずみでお知らせする最後の写真です！ 今後はLINEで！